

# 2017年度決算説明会 2018. 3. 9



クリヤマホールディングス株式会社(東証第二部3355)  
代表取締役CEO **能勢 広宣**

If you have any questions in foreign languages other than Japanese for this briefing session of 2017 annual results, please email to the following email address.

Email: [IR@kuriyama.co.jp](mailto:IR@kuriyama.co.jp)

We will reply by e-mail from the person in charge at a later date.

# 目 次

## I. 2017年12月期決算概要

2017年度 業績のポイント	P. 3
要約損益計算書	P. 4
要約貸借対照表(資産の部)	P. 5
要約貸借対照表(負債・純資産の部)	P. 6
2017年度 売上高増減要因	P. 7
2017年度 営業利益増減要因	P. 8
2017年度 当期利益増減要因	P. 9
アジア事業の概況<産業>	P. 11
アジア事業の概況<建設>	P. 13
アジア事業の概況<スポーツ>	P. 14
北米事業の概況	P. 15
欧州事業の概況	P. 17
その他事業の概況	P. 18

## II. 2018年度 業績見通し

業績見通し	P. 20
為替見通し	P. 23
投資	P. 24
アジア事業<産業>	P. 25
アジア事業<スポーツ・建設>	P. 26
アジア事業<その他>	P. 27
北米・欧州事業	P. 28
株主還元の概況	P. 29

## III. 経営戦略

基本戦略	P. 31
------	-------

補足資料	P. 37
------	-------

### 【注 意 事 項】

・本資料に記載されている、クリヤマホールディングス株式会社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。

・本資料における「当期利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を表しています。

# I. 2017年12月期決算概要

## 2017年度 業績のポイント

### アジア事業 産業資材事業

- ・(株)サンエー製のセンサー売上伸長
- ・尿素SCR関連製品の販売が堅調に推移
- ・中国における建機増産などから  
上海栗山の売上伸長

### アジア事業 ホテル事業

- ・ホテル事業売却に伴い関係会社株式  
売却益を計上

### 北米事業 欧州事業

- ・原油価格の上昇や堅調な北米経済を  
背景に業績回復
- ・クリヤマ品質に合わせる為、スペイン  
にて商品廃棄を実施

I. 2017年12月期決算概要

## 要約損益計算書

(単位:百万円、%)

	2016/12		2017/12			
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
売上高	44,829	100.0	48,942	100.0	4,113	9.2
売上総利益	12,079	26.9	12,965	26.5	885	7.3
営業利益	1,988	4.4	2,004	4.1	15	0.8
経常利益	2,286	5.1	2,354	4.8	68	3.0
当期利益	1,566	3.5	2,543	5.2	976	62.3
為替 レート	米国 \$	109.44円	112.04円		2.60円	
	カナダ \$	82.63円	86.53円		3.90円	
	ユーロ €	120.63円	127.22円		6.59円	
	中国元	16.42円	16.63円		0.21円	

I. 2017年12月期決算概要

## 要約貸借対照表

### 〔資産の部〕

(単位:百万円)

	2016/12	2017/12	増減額
現金及び預金	6,401	6,131	△270
受取手形・売掛金 (電子記録債権含む)	7,266	8,954	+1,688
たな卸資産	9,864	11,144	+1,280
その他	989	1,008	+19
<b>流動資産合計</b>	<b>24,521</b>	<b>27,238</b>	<b>+2,717</b>
有形固定資産	8,440	8,963	+523
無形固定資産	2,508	2,240	△268
投資その他の資産	6,001	6,288	+287
<b>固定資産合計</b>	<b>16,951</b>	<b>17,493</b>	<b>+542</b>
<b>資産合計</b>	<b>41,472</b>	<b>44,731</b>	<b>+3,259</b>

	16/12	17/12
期末レート(米国\$)	116.49円	113.00円
期末レート(ユーロ€)	122.70円	134.94円

I. 2017年12月期決算概要

## 要約貸借対照表

### 〔負債・純資産の部〕

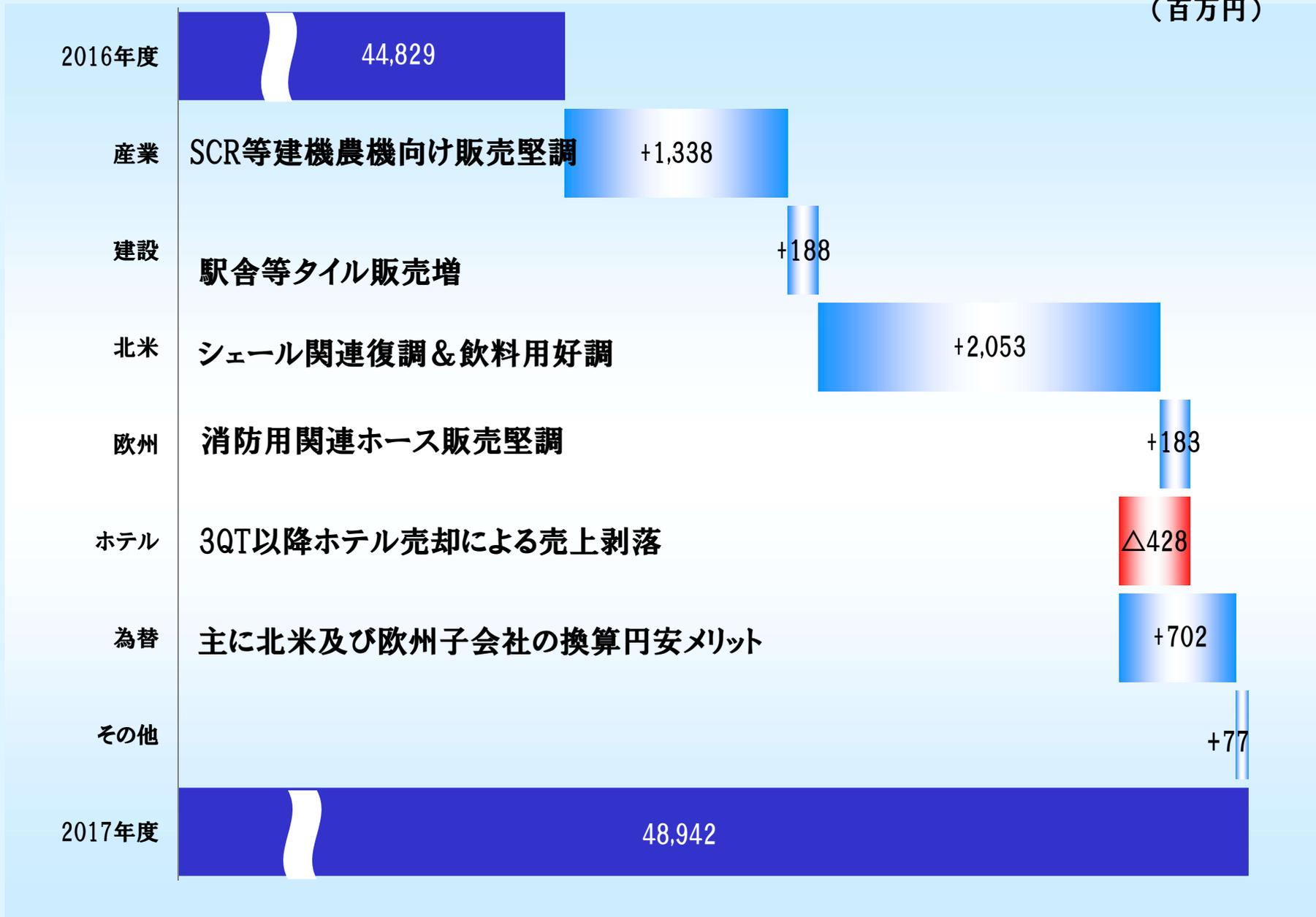
(単位:百万円)

	2016/12	2017/12	増減額
支払手形・買掛金 (電子記録債務含む)	6,185	7,661	+1,476
借入金(1年内長借含)	4,848	5,926	+1,078
その他	1,960	3,282	+1,322
流動負債合計	12,995	16,870	+3,875
借入金	5,341	4,923	△418
その他	3,041	2,263	△778
固定負債合計	8,382	7,186	△1,196
負債合計	21,377	24,057	+2,680
株主資本合計	18,873	19,273	+400
その他包括利益合計	1,176	1,370	+194
非支配株主持分	45	30	△15
純資産合計	20,095	20,674	+579
負債、純資産合計	41,472	44,731	+3,259

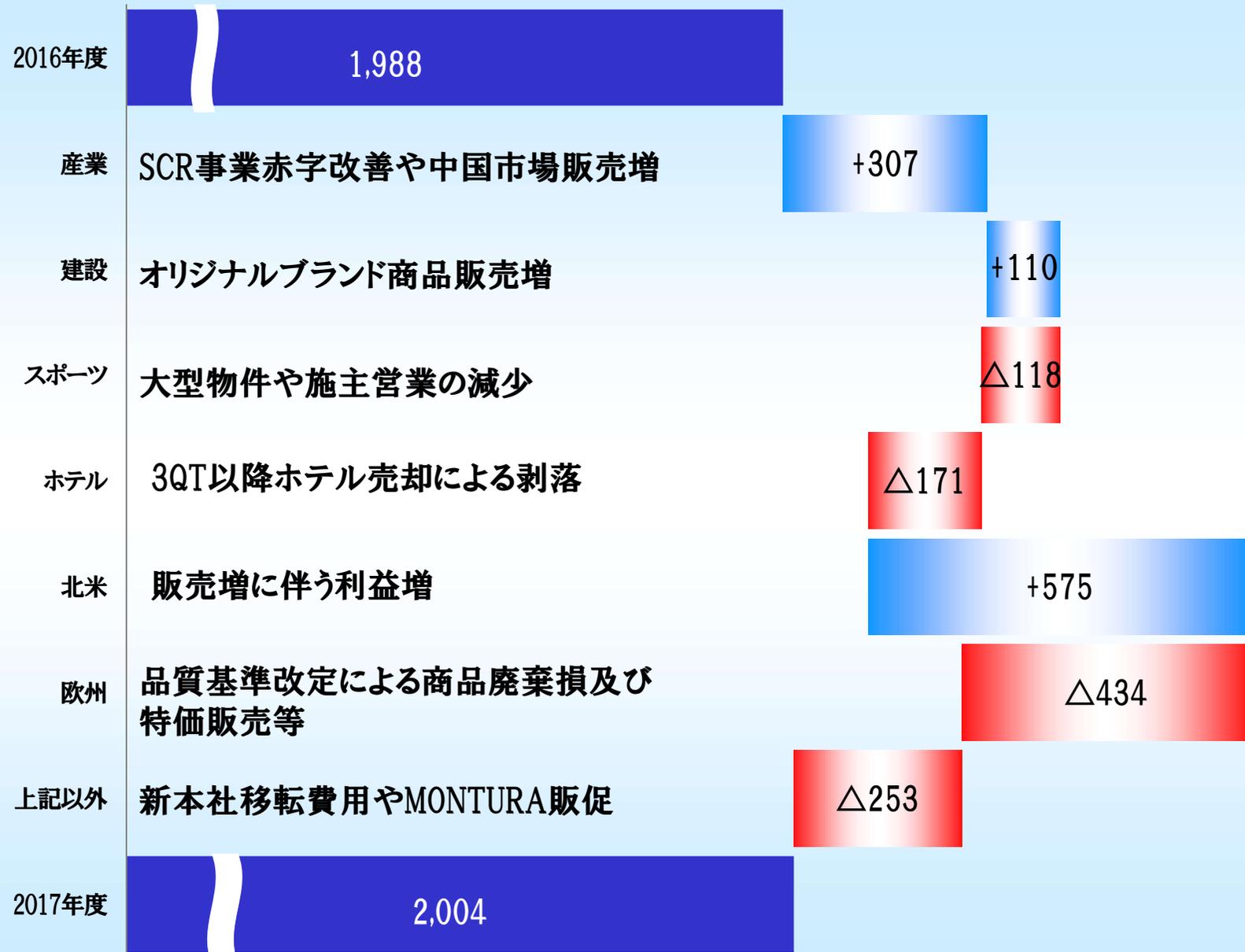
I. 2017年12月期決算概要

# 2017年度 売上高増減要因

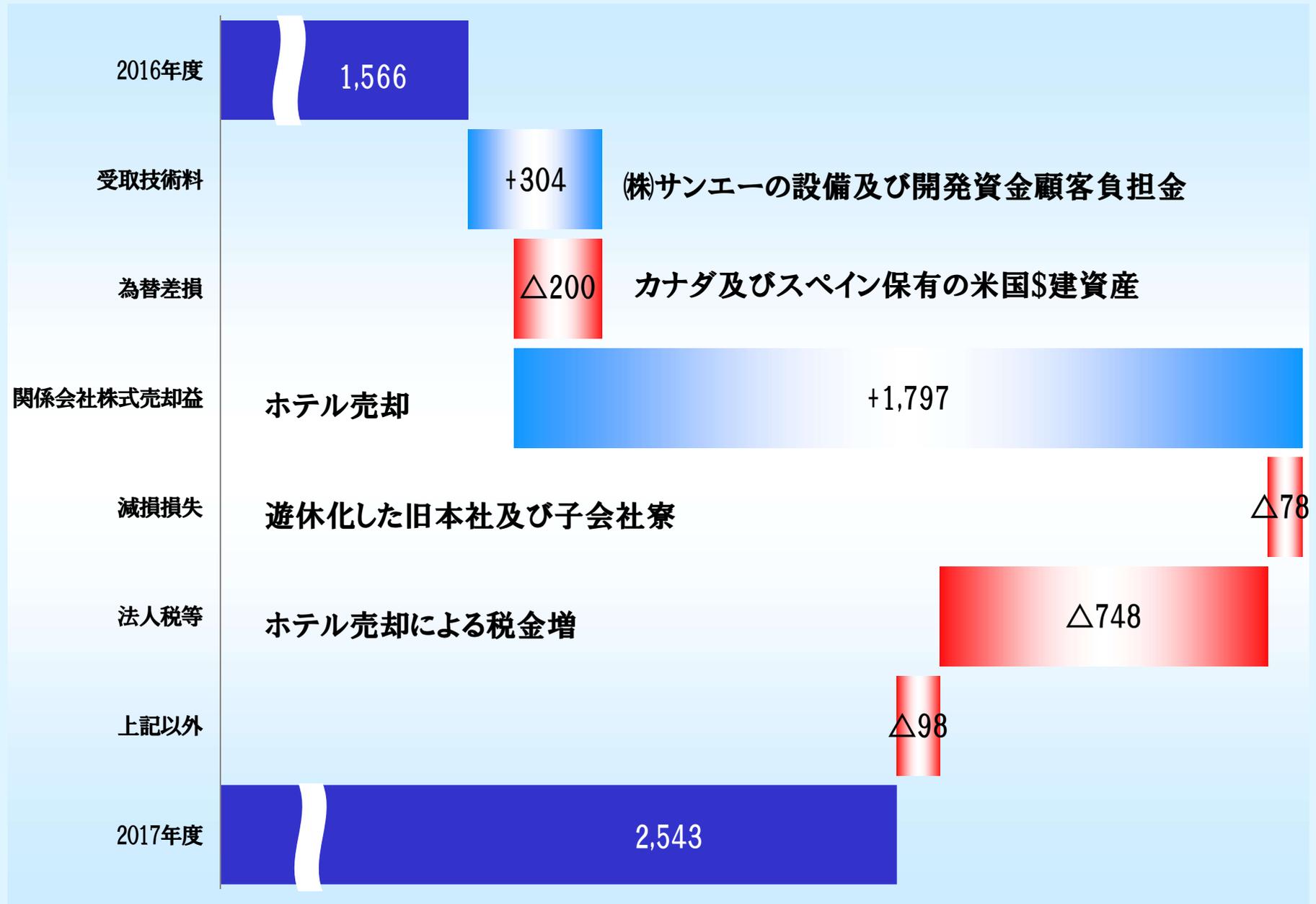
(百万円)



I. 2017年12月期決算概要 **2017年度 営業利益増減要因**



I. 2017年12月期決算概要 **2017年度 当期利益増減要因**



I. 2017年12月期決算概要 **2017年度 当期利益増減要因**

**ホテル事業の売却により特別利益を計上**

2017年5月12日にホテル事業を営むクリヤマコンサルト(株)の株式を売却したこと  
に伴い、関係会社株式売却益を特別利益として計上

① 売却価格 2,467百万円 (当社持株比率98.7%相当分)

② 関係会社株式売却益 1,797百万円

③ 売却時点である2017年6月末日までの  
当社グループ連結損益に取込まれた  
クリヤマコンサルト(株)の損益の概算額

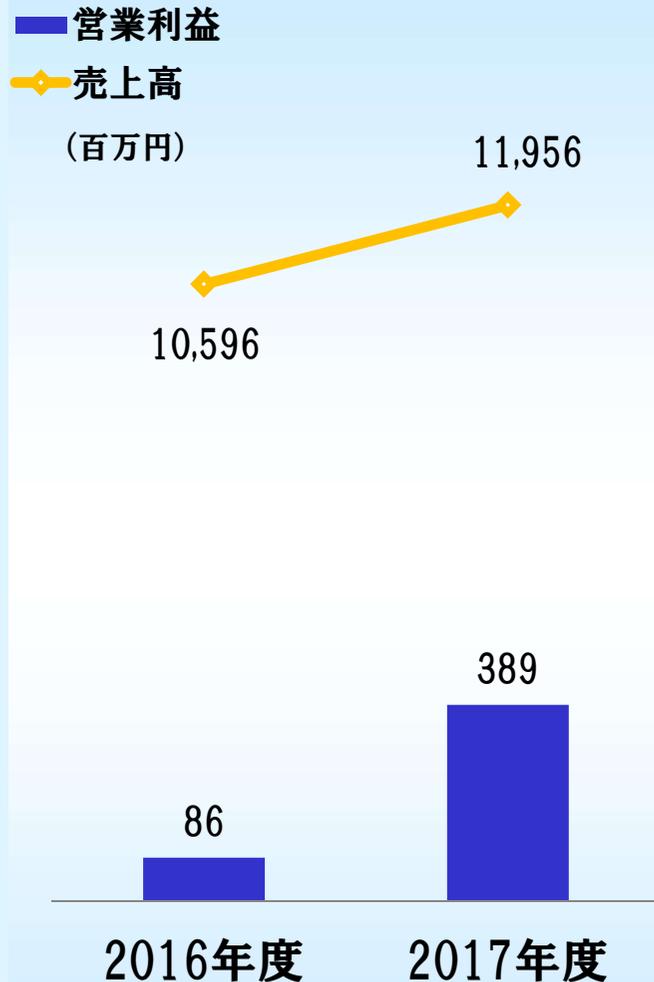
売上高	354百万円
営業利益	120百万円



I. 2017年12月期決算概要

アジア事業の概況<産業>

売上高/営業利益の推移



中国子会社の上海栗山貿易有限公司において、建機顧客の増産のほか、シールドマシン向けシール材が堅調に推移したため、売上高、営業利益が増加



なお、2016年度にその他事業に含めておりました中国事業は2017年度より産業資材事業に含めております。

I. 2017年12月期決算概要

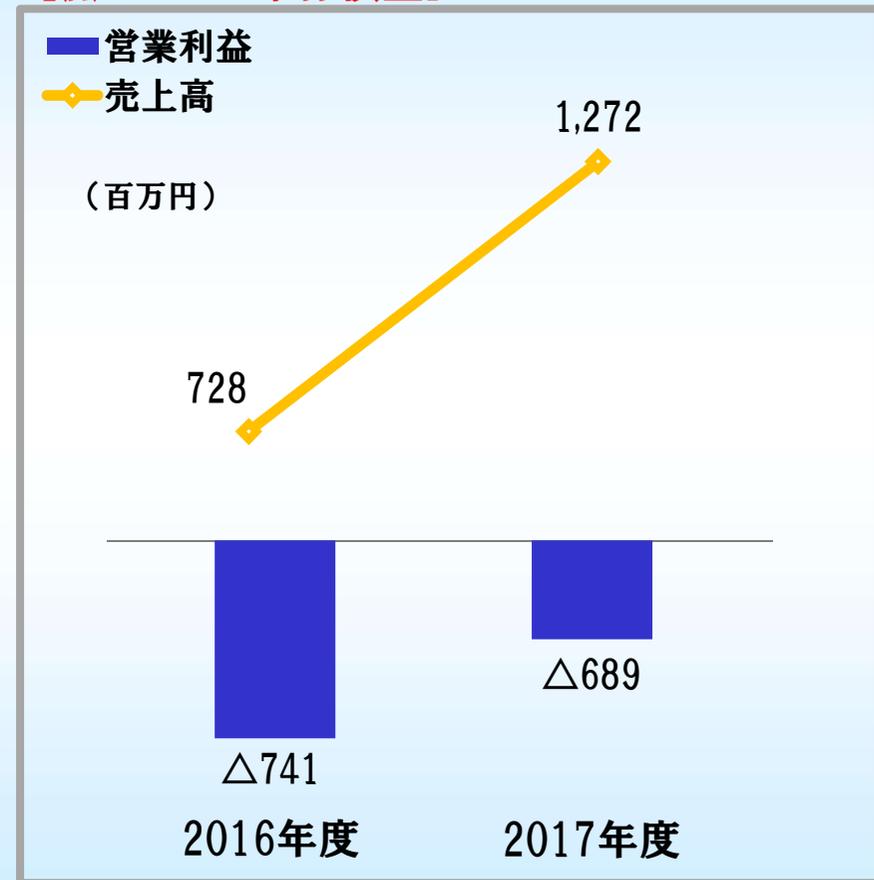
アジア事業の概況<産業>

尿素SCR関連製品が堅調に推移したことにより売上高は増加、営業利益は赤字幅縮小

【尿素SCR関連全体損益】



【(株)サンエー単体損益】

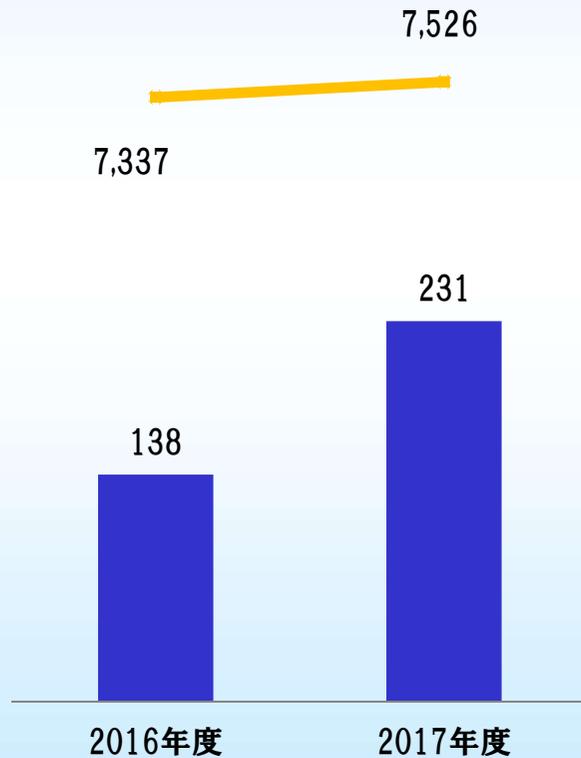


I. 2017年12月期決算概要

アジア事業の概況<建設資材>

売上高/営業利益の推移

■ 営業利益  
 ◆ 売上高  
 (百万円)

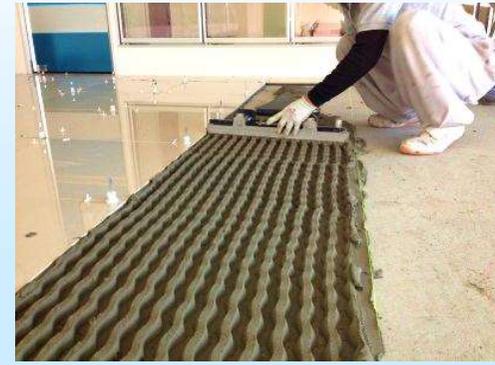


- ・駅の改修・新築工事の増加を背景に、「エーストンシリーズ」(点字タイル等床材)の施工が増加。
- ・チェーンストア向けのストライピング工法による「スーパーマテリアルズ」(セラミックタイル)の施工が増加

エーストンシリーズ



ストライピング工法



I. 2017年12月期決算概要

# アジア事業の概況〈スポーツ〉

## 売上高/営業利益の推移

■ 営業利益  
◆ 売上高  
(百万円)



・スーパーXの販売は昨年より落ちたものの  
体育館における競技時の安全性やメンテナ  
ンス等の観点から、教育施設をはじめとした  
体育館の改修工事の受注を牽引



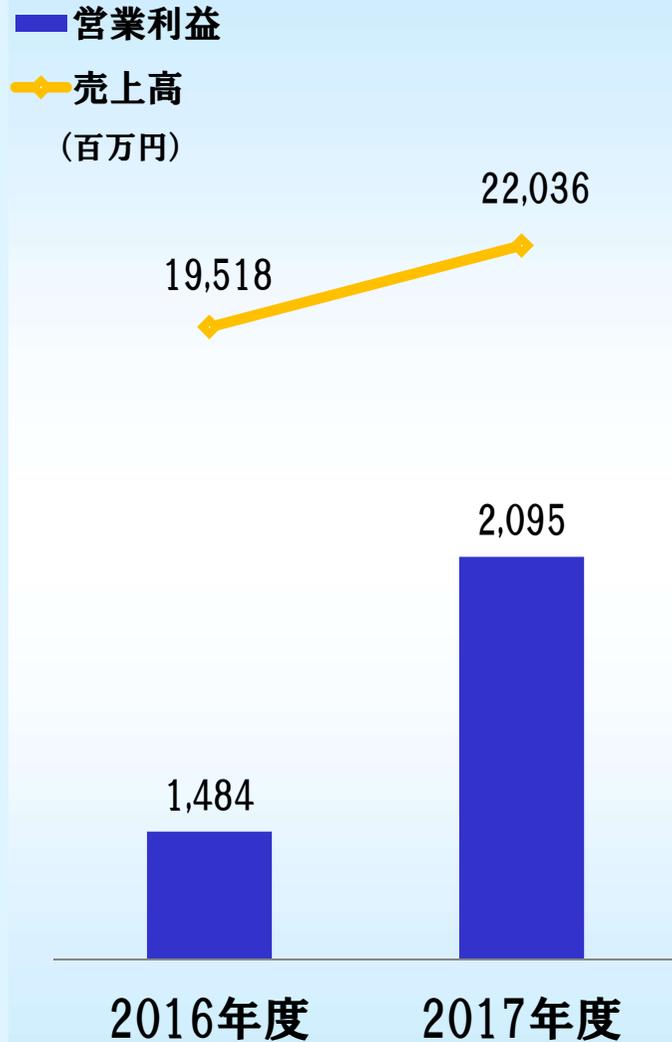
桃山学院大学体育館 (タラフレックス)

・2020年オリンピック・パラリンピック新国立競  
技場向けスーパーX受注に向け、  
営業活動継続

I. 2017年12月期決算概要

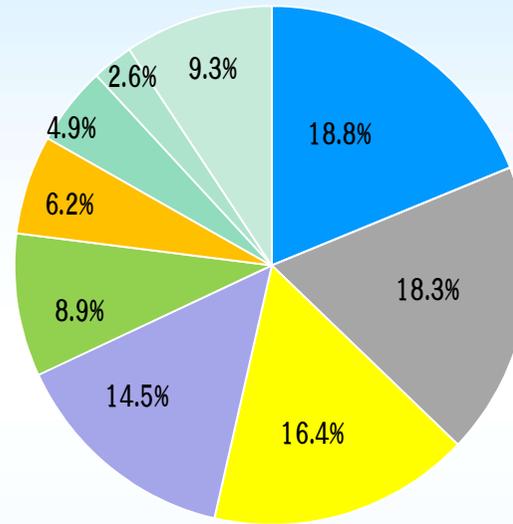
北米事業の概況

売上高/営業利益の推移



オイル&ガス用、飲料用及び産業用ホース販売  
堅調推移

● 業界別売上高



	売上高 (百万USD)	前年比
食品・飲料	37	115%
建築・土木	36	114%
下水・配管	32	88%
設備機器	29	112%
農業	18	105%
石油	12	145%
輸送車両	10	115%
鉱山	5	86%
その他	17	150%

● 為替換算影響額

(現地通貨売上高)

196百万USD 前年比10.3%増収

(売上高影響額) +464百万円

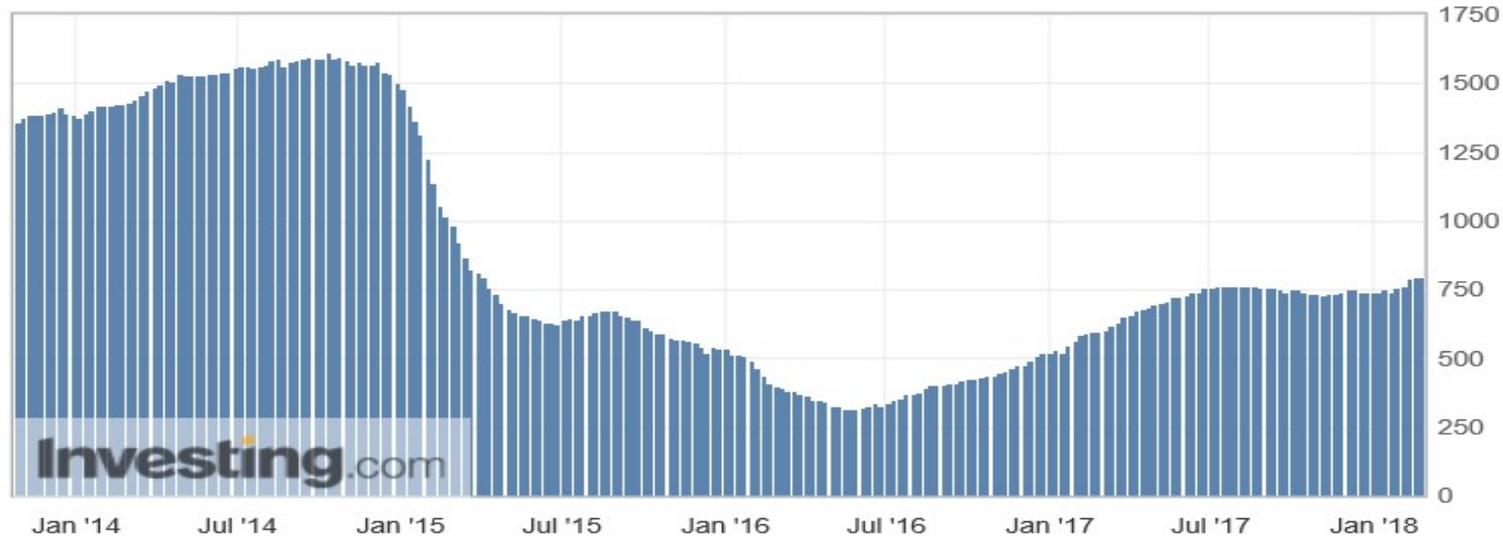
(営業利益影響額) +36百万円

期中平均レート (米国\$)	16/12	17/12
	109.44円	112.04円

I. 2017年12月期決算概要

# 北米事業の概況

ベーカー・ヒューズ社発表の米石油掘削装置(リグ)稼働数



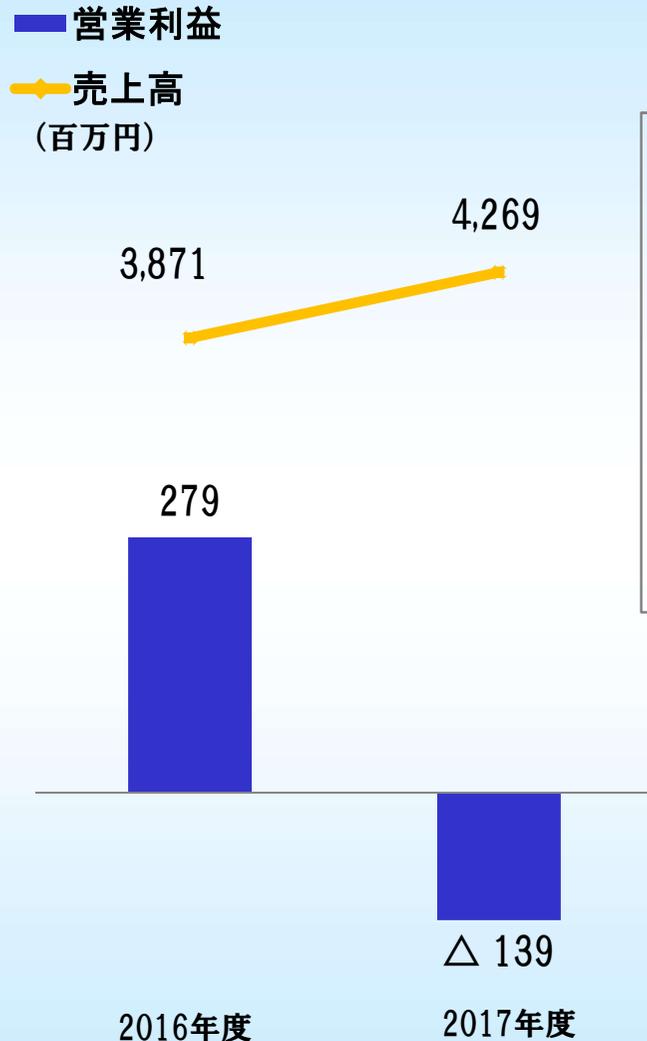
WTI原油先物 月足チャート



I. 2017年12月期決算概要

## 欧州事業の概況

### 売上高/営業利益の推移



消防用ホース堅調も、商品廃棄損及び特価販売等により業績悪化

### 商品廃棄損について

買収前から継続されてきた商品の品質基準を、北米事業において培った品質基準と同等のものに改善。それに伴い、従来の基準では商品として認められていたものの一部(156百万円)を2017年内に一斉廃棄した。

### ● 為替換算影響額

(現地通貨売上高)

34百万EUR

前年比6.5%増収

(売上高影響額)

+215百万円

(営業利益影響額)

+15百万円

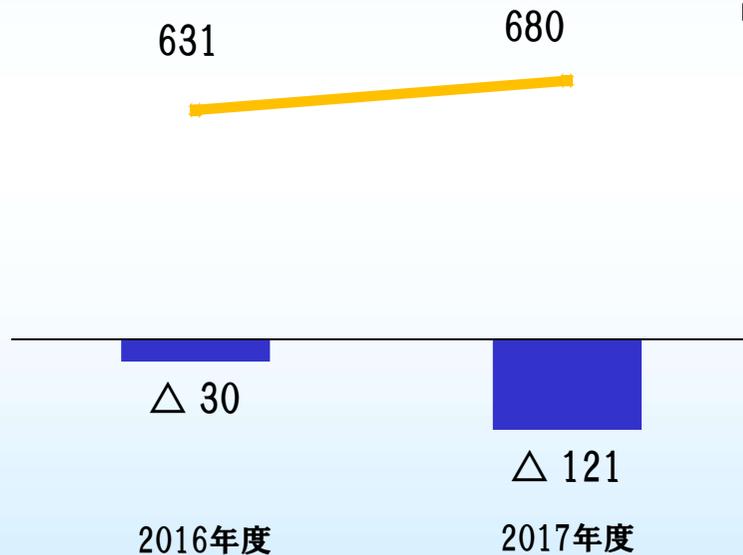
適用レート (ユーロ€)	16/12	17/12
	120.63円	127.22円

I. 2017年12月期決算概要

その他事業の概況

その他売上高/営業利益の推移

■ 営業利益  
◆ 売上高  
(百万円)



- ・「MONTURA」直営店1店舗、百貨店3店舗をオープン
- ・Web販売やSNSによる広告・宣伝活動を実施
- ・マーケティング費用が発生し営業赤字に



MONTURA TOKYO(神田小川町)



MONTURA Shop 恵比寿三越



MONTURA PLUS松坂屋豊田店

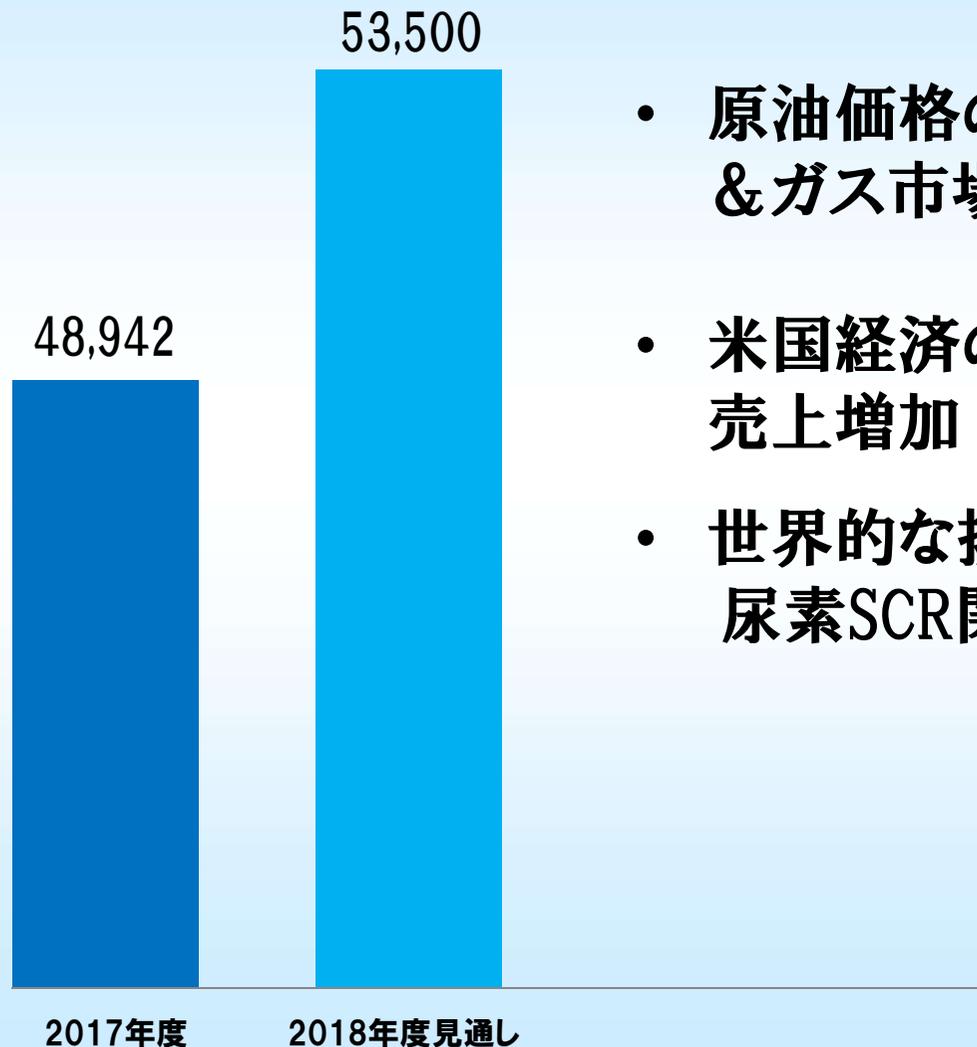


MONTURA Shop福岡三越

## II. 2018年度 業績見通し

## 業績見通し

### 売上高 (百万円)

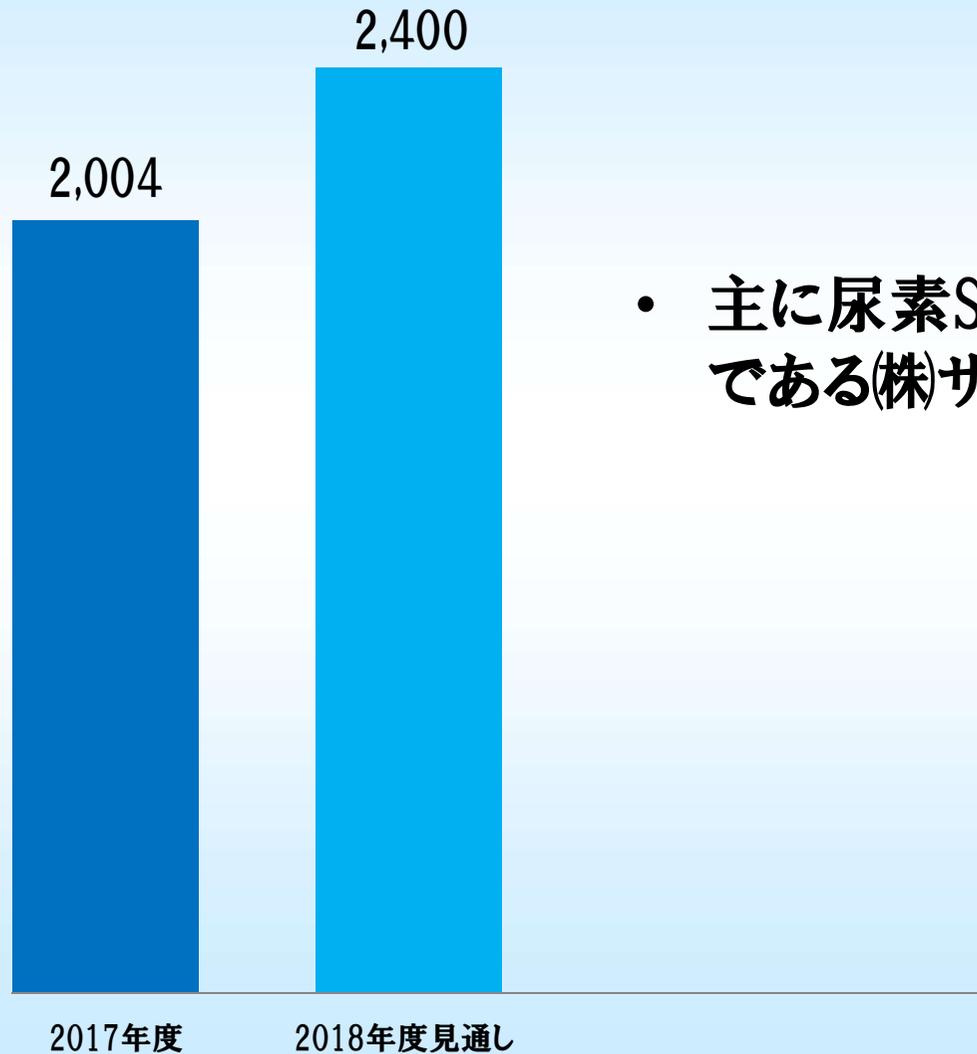


- 原油価格の上昇によるシェール・オイル & ガス市場の回復
- 米国経済の拡大による産業用ホースの売上増加
- 世界的な排ガス規制の加速により、尿素SCR関連製品の需要拡大

## 業績見通し

### 営業利益

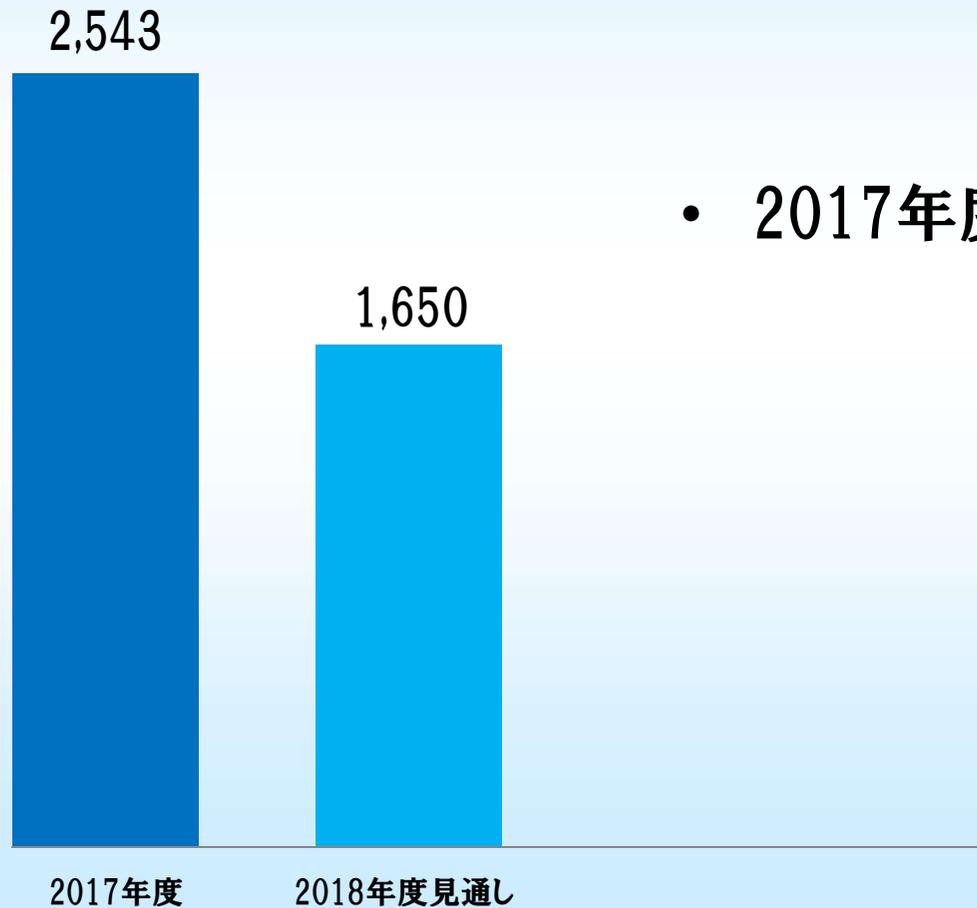
(百万円)



- 主に尿素SCRセンサーの製造メーカーである(株)サンエーの赤字幅縮小による

## 業績見通し

### 当期利益 (百万円)



- 2017年度のホテル売却益剥落

Ⅱ. 2018年12月期業績見通し

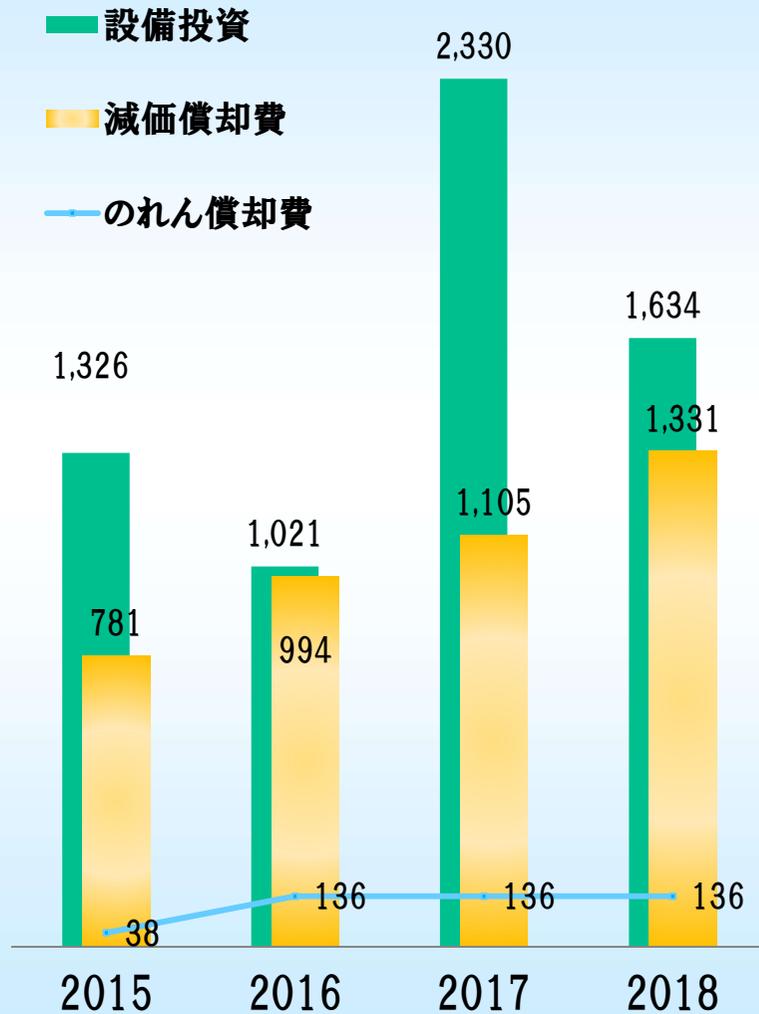
為替見通し

USD (主なインパクト)	2017年実績	2018年計画	為替感応度(百万円)	
			売上高	営業利益
●北米事業損益換算				
●産業資材販売/調達	112.04	115.00	200	15
●建設資材調達				
EUR (主なインパクト)	2017年実績	2018年計画	為替感応度(百万円)	
			売上高	営業利益
●欧州事業損益換算				
●産業資材販売/調達	127.22	130.00	40	0
●スポーツ施設資材調達				

## 投資

### 設備投資及び減価償却費等の推移

(百万円)



- 北米のPHP社建屋/設備増強  
370百万円
- (株)サンエー設備増強  
328百万円  
\* 2017年度実績は682百万円
- スペインのTIPSA社  
設備増強 215百万円
- アルゼンチンのINQUISA社  
設備増強 250百万円

II. 2018年12月期業績見通し

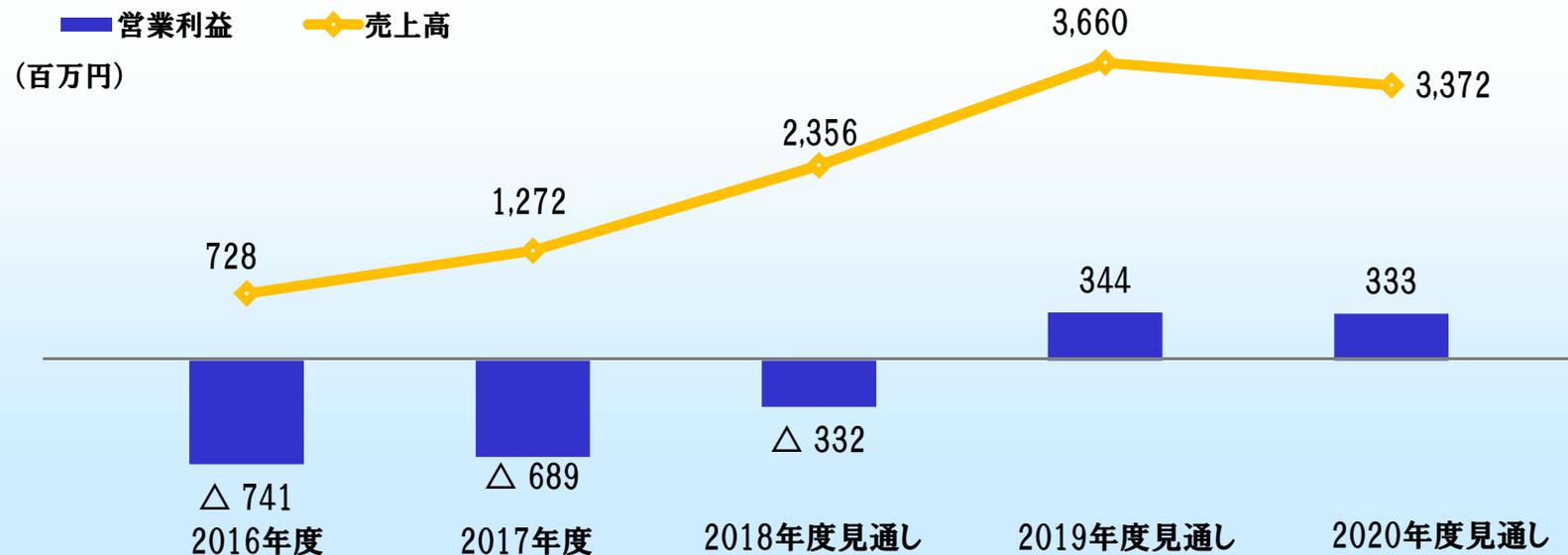
アジア事業<産業>

産業資材事業



- 尿素SCRモジュール・タンク等排ガス規制関連商品の開発及び販売強化
- (株)サンエーにおける欧州乗用車向け小型化新製品の本格的量産と次世代新製品の研究・開発強化

(株)サンエー単体業績推移



## アジア事業〈スポーツ・建設〉

### 建設・スポーツ資材事業



- 商業施設向けにオリジナルブランド商品である「スーパー・マテリアルズ」等の受注活動の強化
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う建設需要やインフラ整備など建設投資の取込強化
- 下記スポーツイベントに向け、新設及び改修物件の受注強化
  - ① 平成31年ラグビーワールドカップ
  - ② 平成32年東京オリンピック、パラリンピック
  - ③ 平成33年関西ワールドマスターズゲームズ

\*この時期はゴールデン・スポーツイヤーズと称されている

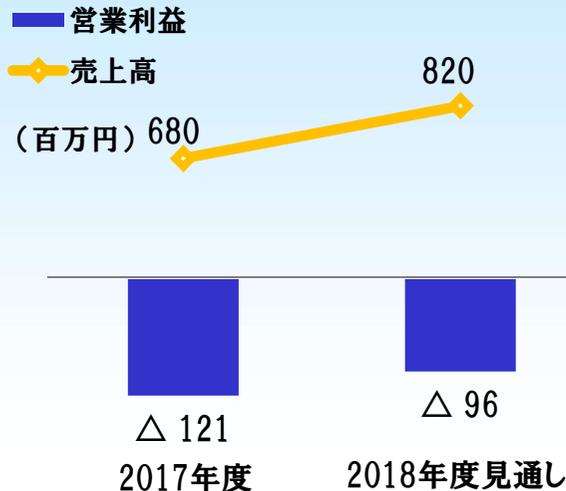
#### 【建設・スポーツ売上高内訳】

	2017年度	2018年度見通し
建設	7,526	8,100
スポーツ	2,120	2,430
合計	9,646	10,530

II. 2018年12月期業績見通し

アジア事業 〈その他〉

その他事業



- ・ イタリアのスポーツアパレルブランド「MONTURA」の国内認知度向上と販売強化
- ・ 「MONTURA」ブランドのゴルフウェアへの展開 (2018年度より、秋冬モデルの販売開始)
- ・ 「MONTURA」ブランドの日本規格商品の販売開始



- ・ 仙台市、宇都宮市に新店舗オープン  
直営店2店舗、百貨店5店舗の計7店舗に

3/7(水) 仙台三越本館4F  
MONTURA Shop 仙台オープン

Ⅱ. 2018年12月期業績見通し

## 北米・欧州事業

### －北米・欧州とのシナジー効果の拡大によりグローバル事業展開を推進－

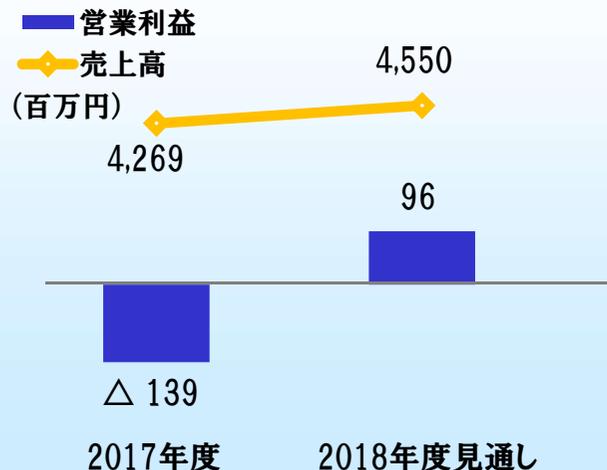
#### 北米事業



- 北米経済の好調の機を捉え、ホース市場での更なるシェア拡大
- 買収した欧州グループと更なる連携強化を図ることにより、製販一体によるグループネットワークと豊富なホース製品群を生かし、グローバル展開を加速させる

期中平均	17/12	18/12
レート(1USD)	112.04円	115.00円

#### 欧州事業



- 生産効率の更なる向上による収益力の強化
- 製造技術面における北米グループとのシナジー効果の最大化

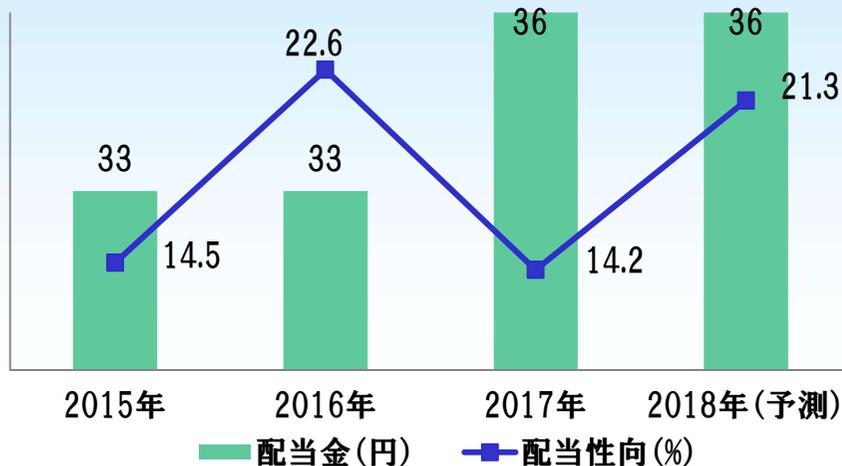
期中平均	17/12	18/12
レート(1USD)	127.22円	130.00円

## 株主還元の概況

### 配当金

基本方針：継続的・安定的配当を基本とし、配当性向及び内部留保を総合的に勘案

上場来(2004～2017)減配なし



### ●配当金

2017年度は前期に比べ1株につき3円増配の**36円**

### ●配当性向

配当性向**30%**を目標

### その他

#### 【自己株式取得】

以下の通り、2017年度は2度の自己株式取得を実行

- ・ 2017年2月13日 普通株式792,300株×@1,765=1,398百万円
- ・ 2017年11月13日 普通株式200,000株×@1,950= 390百万円

#### 【株主優待制度】

2017年度に株主優待制度として、その他事業として取扱うスポーツアパレルブランド「MONTURA」オリジナルクオカードの贈呈を決定

## Ⅲ. 経営戦略

## 基本戦略

### 1 2017年度の進捗度合い

グ  
ロ  
ー  
バ  
ル  
事  
業  
展  
開

- ◆グローバルなホースカンパニーを目指し、製販一体型のビジネスモデルの一層の強化
- ◆品質管理のさらなる強化
- ◆グローバル体制深化の中での拠点の拡大

## 基本戦略

### 1 2017年度の進捗度合い

グローバルなホースカンパニーを目指し、製販一体型のビジネスモデルの一層の強化

北米 & 欧州

- ◆PHP社屋ライン増設…新製品の開発及び生産の拡大余地の改善
- ◆カナダのAIH設備増強…飲料用ホースなど生産能力約30%増強を見込む
- ◆欧州グループ内において生産効率改善を図る
- ◆スペイン事業会社3社 (TIPSA、TUBOS、BULMA) を統合し、企業構造のスリム化を実現



## 基本戦略

### 1 2017年度の進捗度合い

グローバルなホースカンパニーを目指し、製販一体型のビジネスモデルの一層の強化

#### 国内

◆OEMテクニカルセンターを製造拠点として機能させ、生産効率向上を図るため、ホースやクランプ、SCRなどを自動でアッセンブリするロボットや装置を導入



◆(株)サンエーの量産体制に向けた生産効率向上のための設備強化

◆品質管理のさらなる強化

#### 欧州

◆内部統制強化及び品質基準改定による陳腐在庫一括処分

## 基本戦略

### 1 2017年度の進捗度合い

#### ◆グローバル体制深化の中での拠点の拡大

北米 & 欧州

#### ◆南米・ロシア・アフリカ・中東・アジア・豪州への展開

- ・北米ホースを欧州グループであるスペインやアルゼンチンで販売。  
アルゼンチン製のホースを北米で販売
- ・米国開催の展示会において北米・欧州事業製品  
や尿素水識別センサーを同時に展示
- ・中国(北京)で開催された国際消防設備技術交流  
展示会に欧州グループ取扱い消防用ホースや  
ノズル等を展示
- ・M&Aの予定はないが、各地域の市場を調査



## 基本戦略

### 2 2018年度の基本戦略

- ◆ホース事業でグローバルトップステータスを目指す
- ◆アジア地域で全事業分野のプレゼンスを一層高める
- ◆品質を高め、技術力を強化し、リスク管理を徹底

ご清聴誠にありがとうございました。



※2018年1月5日に本社を移転いたしました

＜お問い合わせ先＞

クリヤマホールディングス株式会社 経営企画部

〒540-6325 大阪府中央区城見1丁目3番7号

松下IMPビル25階

E-Mail : [IR@kuriyama.co.jp](mailto:IR@kuriyama.co.jp)

TEL 06-6910-7023 FAX 06-6910-7035

<http://www.kuriyama-holdings.com/>

# 補足資料

補足資料

## 要約損益計算書

(単位:百万円、%)

	2016/12		2017/12			
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
売上高	44,829	100.0	48,942	100.0	4,113	9.2
売上総利益	12,079	26.9	12,965	26.5	885	7.3
営業利益	1,988	4.4	2,004	4.1	15	0.8
経常利益	2,286	5.1	2,354	4.8	68	3.0
当期利益	1,566	3.5	2,543	5.2	976	62.3
為替 レート	米国 \$	109.44円	112.04円		2.60円	
	カナダ \$	82.63円	86.53円		3.90円	
	ユーロ €	120.63円	127.22円		6.59円	
	中国元	16.42円	16.63円		0.21円	

## 販売費・営業外損益等の概況

(単位:百万円)

※主要科目を記載	2016/12	2017/12	増減額
<b>1. 販管費</b>	<b>10,090</b>	<b>10,960</b>	<b>870</b>
①人件費	4,118	4,404	286
②運賃荷造費	1,333	1,547	214
③賃借料	415	505	89
<b>2. 営業外損益</b>	<b>297</b>	<b>349</b>	<b>52</b>
④為替差損益(差損△)	△21	△221	△199
⑤持分法投資利益	322	286	△35
⑥受取技術料	0	304	304
<b>3. 特別損益(△損失)</b>	<b>△1</b>	<b>1,653</b>	<b>1,655</b>
⑦関係会社株式売却益	0	1,797	1,797
⑧出資金評価損	0	△117	△117
<b>4. 法人税等</b>	<b>712</b>	<b>1,461</b>	<b>748</b>
⑨法人税、住民税及び事業税	752	1,673	920
⑩法人税等調整額	△39	△211	△251

## 要約貸借対照表

### 〔資産の部〕

(単位:百万円)

	2016/12	2017/12	増減額
現金及び預金	6,401	6,131	△270
受取手形・売掛金 (電子記録債権含む)	7,266	8,954	+1,688
たな卸資産	9,864	11,144	+1,280
その他	989	1,008	+19
流動資産合計	24,521	27,238	+2,717
有形固定資産	8,440	8,963	+523
無形固定資産	2,508	2,240	△268
投資その他の資産	6,001	6,288	+287
固定資産合計	16,951	17,493	+542
資産合計	41,472	44,731	+3,259

北米 2億50百万円増  
アジア 12億45百万円増  
欧州 1億93百万円増

北米 11億9百万円増  
アジア 4億24百万円増  
欧州 2億54百万円減

アジア  
のれん1億31百万円減  
  
欧州  
顧客関係資産52百万円減

関係会社株式及び出資金  
2億41百万円増  
出資金評価損  
1億17百万円  
(10.94%出資している中国のタ  
イル製造会社)

	16/12	17/12
期末レート(US\$)	116.49円	113.00円
期末レート(EUR)	122.70円	134.94円

補足資料

## 要約貸借対照表

### 〔負債・純資産の部〕

(単位:百万円)

	2016/12	2017/12	増減額
支払手形・買掛金 (電子記録債務含む)	6,185	7,661	+1,476
借入金(1年内長借含)	4,848	5,926	+1,078
その他	1,960	3,282	+1,322
流動負債合計	12,995	16,870	+3,875
借入金	5,341	4,923	△418
その他	3,041	2,263	△778
固定負債合計	8,382	7,186	△1,196
負債合計	21,377	24,057	+2,680
株主資本合計	18,873	19,273	+400
その他包括利益合計	1,176	1,370	+194
非支配株主持分	45	30	△15
純資産合計	20,095	20,674	+579
負債、純資産合計	41,472	44,731	+3,259

有利子負債純増額  
1億88百万円増加  
(借入金純増減額  
6億60百万円増加)

純利益25億43百万円  
配当 3億54百万円  
自己株式取得  
17億88百万円

自己資本比率 2.2%減少  
2016年度末 48.3%→  
2017年度末 46.1%

補足資料

## キャッシュフロー、設備投資等

(単位:百万円)

	2016/12	2017/12	増減額
営業CF	2,640	1,751	△889
投資CF	△1,719	△52	△1,667
FCF	921	1,698	+777
財務CF	△297	△2,070	△1,773
現金及び 現金同等物	5,871	5,601	△269

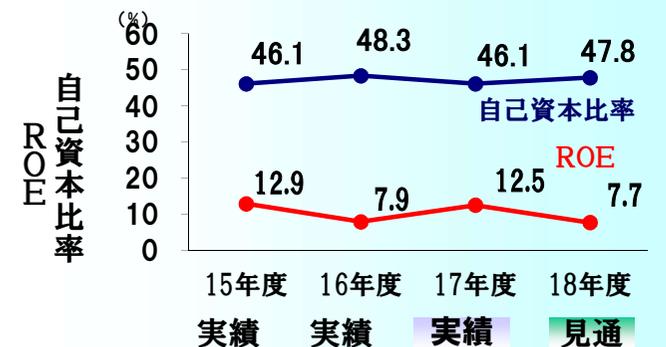
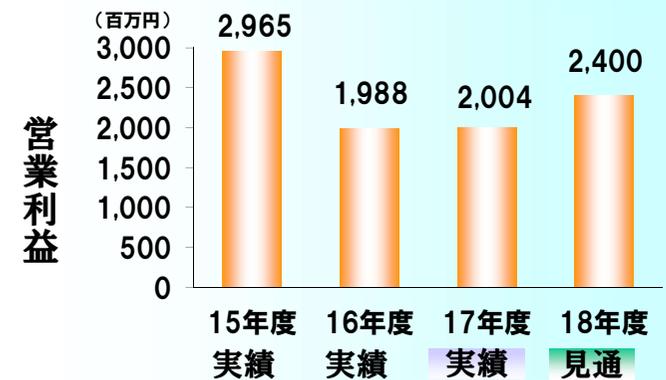
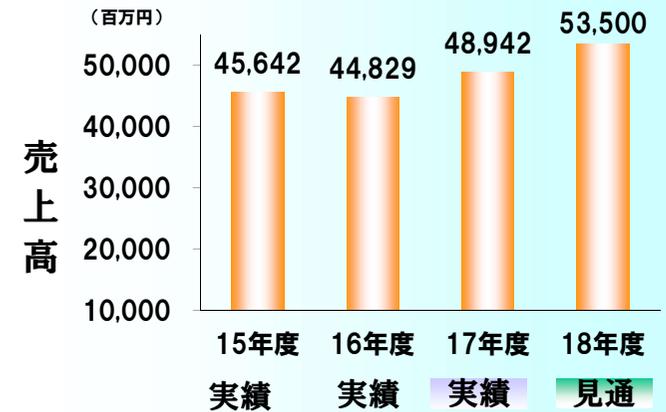
(単位:百万円)

設備投資額	1,021	2,330	+1,309
減価償却費	994	1,105	+110
のれん償却費	136	136	+0
研究開発費	394	450	+56

補足資料

# クリヤマグループ業績見通し

	2015年 実績	2016年 実績	2017年 実績	2018年 見通	
売上高 (百万円)	45,642	44,829	48,942	53,500	
営業利益 (百万円)	2,965	1,988	2,004	2,400	
経常利益 (百万円)	3,443	2,286	2,354	2,800	
当期利益 (百万円)	2,449	1,566	2,543	1,650	
ROE (%)	12.9	7.9	12.5	7.7	
自己資本比率 (%)	46.1	48.3	46.1	47.8	
有利子負債増減額 CFベース(百万円) (減少△)	3,159	95	115	979	
設備投資額 (百万円)	1,326	1,021	2,330	1,634	
為替 レート	米国 \$	121.03円	109.44円	112.04円	115円
	カナダ \$	94.04円	82.63円	86.53円	90円
	ユーロ €	133.55円	120.63円	127.22円	130円
	中国元	19.17円	16.42円	16.63円	16円

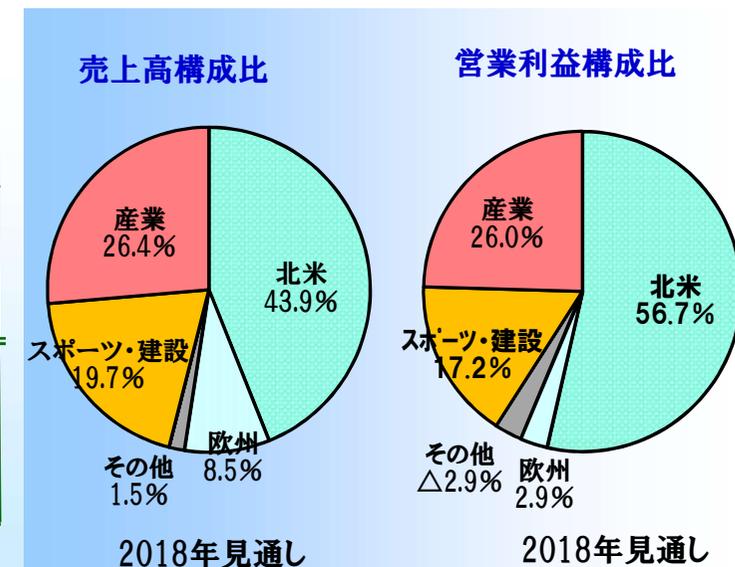
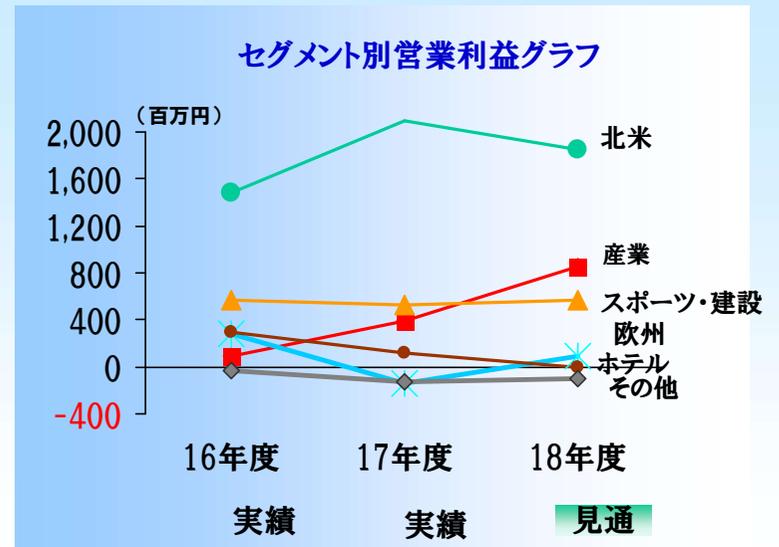


補足資料

# 事業セグメント別業績見通し

(単位:百万円)

		2016年 実績	2017年 実績	2018年 見通
アジア事業	産業資材業	10,596	11,956	14,100
		86	389	851
	スポーツ・建設資材事業	9,428	9,646	10,530
		570	524	564
	ホテル事業	783	354	0
	291	120	0	
	631	680	820	
	△30	△121	△96	
北米事業		19,518	22,036	23,500
		1,484	2,095	1,856
欧州事業		3,871	4,269	4,550
		279	△139	96
連結		44,829	48,942	53,500
		1,988	2,004	2,400



(注) 1. 上段は外部売上高、下段は営業利益 2. 全社費用は上記に表示しておりません。